

<今日の説教のポイント マタイによる福音書 27 章 27～44 節>

①イエス様が侮辱されているだけの個所？ その真意（神意）は？

この個所を初めて読んだら、全体の 8 割方は、色んな人間が救い主と言われるイエス様を侮辱し(29, 30, 41)、ののしる(39, 44)記事で、「なんだ、これは？」と驚くことでしょう。しかし、マタイがまず伝えたかったこともそこにあるでしょう。人間はイエス様を辱めたのだと。もしイエス様が本当に神の子であったなら、それは大変なことですね。

この個所でイエス様のことを記しているのはわずかです。しかし、そのわずかな内容にこそ、この個所の真意（神意）を解く鍵があります。

②イエス様の描写 1 苦いぶどう酒を飲まなかった意味は？

イエス様は刑場で差し出された苦いものを混ぜたぶどう酒を飲まれません(34)。飲んで神経を曇らせて痛みを和らげることをせず、最後まで苦しみに正面から立ち向かおうとされたのです。つまり、イエス様が苦しめられたことは決して不本意なことではなく、人間の罪を全て受け止めて下さるという重要な意味あることだったのです(イザヤ書 53 章 3～5, 11～12 節)。

③イエス様の描写 2 神の子なのに逃れられない？

「神の子なら、十字架から降りて自分を救え。神に救ってもらえ」(40, 42)、と言われます。どこかで聞いた言葉です。そうです、イエス様が荒野でサタンの誘惑に遭われた時に、サタンが言った言葉です(4:6)。しかし、あの時もイエス様はサタンの誘惑に乗りませんでした。サタンの言われた通りにしたら負けです。神様を信頼し通さず、サタンに従うことになるからです。十字架から降りないこと、そこに大事な意味があったのです！

④ひたすら黙して耐えて下さったことこそ、神様の救いの業！

人間がイエス様に対して犯したひどい罪の数々。それがもたらす苦しみを負い切って死なれたイエス様。しかし、それで終わりではありませんでした。神様はイエス様を復活させられたのです！ 私たちの想像を上回る神様の恵みの救いの業が、人間の業の罪の極みの中で成し遂げられたのです！ 驚きであり、同時に感謝です！！